

## 事業報告

(2020年1月1日から2020年12月31日まで)

当連結会計年度(2020年1月1日～2020年12月31日)における国内経済は、新型コロナウイルスの影響により企業活動や消費活動が低迷し、先行きの見通しが不透明な状況となりました。当社企業グループにおいても主に直営ホテルについて、当初の業績予測に対して大幅な減収となりました。

不動産市況については、東京都心5区における2020年12月末時点の平均空室率4.49%と、前年同月比2.94ポイント下落しました。また、同エリアの同時点における平均賃料は21,999円/坪と、2020年7月から5カ月連続で下げ、15カ月ぶりに22,000円台を下回りました。(三鬼商事調べ)。

このような状況の中、当連結会計年度も引き続きコンサルティング案件数及び不動産受託資産残高の増加に向けて取り組みました。収益力向上のための大規模改修工事を引き続き複数件実施したことにより、売上原価は増加傾向となっております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高18,620,738千円(前期比12.2%増)、営業利益1,265,788千円(前期比44.4%増)、経常利益694,259千円(前期比1.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益390,882千円(前期比31.4%減)となりました。